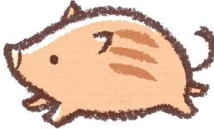


<h1 style="font-size: 48px; color: orange;">1月</h1>	<p style="text-align: center;">学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○よく考え進んで学ぶ子</li> <li>○心豊かな子</li> <li>○ねばり強い子</li> </ul>		<p style="text-align: center;">発行者</p> <p style="text-align: center;">那覇市立城北小学校 校長 有銘 祐子 TEL 098(917)3303</p>
---	--	--	---

## 新年

気持ちも新たに、あけましておめでとうございます。

年度の途中でも、「新しい」「始まる」という言葉は、ワクワクしますね。今回のお正月は、平成最後の年、指導要領改訂前年、オリンピック前年、消費税増税等々いろいろなものが変わる年であることから、ワクワク、ドキドキする年明けとなったことと思います。さて、5月から始まる新元号は、何になるのでしょうか。楽しみにしておきたいものです。

今年も、本校学校教育に、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

## 席書会

年明けの8日～9日の両日に、席書会が各学年で行われました。3年生から6年生までは、今年も体育館で、龍賓沖縄書道会の大城碧鳳会長を始め17名のボランティアの先生がお越しくださり、指導、審査してくださいました。

中心線を意識した字のバランスを基本に指導して頂きました。児童によって書道に対するキャリアは違えども、一つの作品を仕上げる難しさと喜びは大きかったようです。

1年生、2年生は、硬筆を行いました。特に1年生は、4月当初に比べると「筆圧」、「文字のバランス」等に上達の跡が見られました。

「書は体を表す」と言われます。ぜひ、きれいな字、優しい心を意識していきましょう。



## 「学校給食週間」(1月24日～30日)

学校給食は、明治22年、山形県の小学校で家が貧しく弁当を持ってくることのできない子ども達へ昼食を出したのが、学校給食の始まりとされています。その後、学校給食の取り組みは全国に広がりましたが、戦争が起こり、食糧不足となり提供できなくなってしまいました。戦後、子ども達の栄養状態の悪化が心配されたことから、学校給食の必要性が叫ばれるようになり、アメリカ民間団体(ララ)から贈られてきた物資で給食を再開することになりました。

沖縄県最初の給食は、昭和30年、豊見城村(現在・市)上田小学校でした。

昭和30年：アメリカ民間団体(ララ)から贈られた脱脂粉乳をお湯で溶いたミルク給食でしたが、臭いがきつかったため苦手な子どもが多かったそうです。

昭和35年：脱脂粉乳に、今より大きなぞうりくらいのパンが付くようになりました。

昭和37年：パン、脱脂粉乳に、副菜が付くようになり「完全給食」となりました。

昭和51年：パンが主食の給食から、「ごはん」が取り入れられるようになりました。

現在：栄養失調の子どもを救うための給食から、今では、健康を維持・増進するための給食になってきました。牛乳も脱脂粉乳から平成2年には、栄養価の高い加工乳になり、平成13年には生乳100%の牛乳となりました。現在では、ごはんやパン、麺などを主食に、多種多様な献立が提供されています。**毎日のおいしい給食に感謝です!!**

